



総会のお知らせ

安達事務局長

平成25年度は、子どもゆめ基金事業や県の環境事業、文科省事業を受託して教育の協働についてのモデル事業を実施しました。文科省事業の「学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証研究（学校・家庭・地域の連携協力推進事業）」は、別府市においてのネットワーク作り等を進めるモデル事業として、東京、沖縄のNPOと連携しながらの取り組みでした。報告書をホームページに掲載していますのでご覧ください。平成26年度も、引き続き本NPO法人の設立趣旨に沿った「教育の協働」を推進する活動を進めてまいります。

つきましては、平成25年度の振り返りと、平成26年度活動計画を協議する定期総会を下記のとおり開催します。他の会員にもお声掛けをしていただき、ご参加をお願いします。

①総会期日：6月14日（土）14：00～16：00 ※受付：13：30～

○総会終了後、大分市内で懇親会を致します。（場所は大分駅前検討中。会費は、4,000円以内）

②会場は「総会案内」をご覧ください。

事務局からのお願い

～事務局のお手伝いをしていただけの方を募集しています～

事務局では、主催事業の企画や案内・実施、会報やHP等の広報活動、さらに会員の拡大への啓発、会計処理等を行っています。会員の方が自宅で出来る会報作成やHPの更新等の事務をしていただける方をお願いしています。総会の出欠表や総会での情報交換会等で意向をお聞かせ願います。

《会費納入のお願い》

会費が改正されました。平成25年度の会の決算が近づいておりますので未納の方はなるべく早く納入をお願いします。（2年間の未納は、定款上「退会」となりますので留意ください）

会の運営や会員の情報収集・提供、HPの運営、研修・モデル的な主催事業等を充実します。

会費 * 正会員（全会員）は年間1,000円以上

（「以上」ですので、会運営のための会費納入にご協力ください。）

※郵送の場合：〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地 大分大学高等教育開発センター 中川忠宣宛

※振込の場合：ゆうちょ銀行 記号 17220 番号 4866821 トクヒ）オオイタケンキョウイクアドバイザーネット

◎これまで郵送しておりました会報やその他情報について、メールアドレスをお持ちの会員の皆様には、今後メールにて配信させていただくこととさせていただきます。お預かりした会費を有効に活用し、会の運営の更なる充実を図りたいと思っておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

会員さんの紹介

萱島かよさん(3期生)

国東市協育ネットワーク推進協議会/国東市ボランティア協議会

萱島さんは、国東市の国東中学校区の小学校4校と、中学校1校を担当しており、地域の協力者とともに、子ども教室の企画・運営まで、アクティブにこなしていらっしゃいます。

今回は、毎週水曜日に開催されている「子ども教室」と「まなびの教室」の様子取材させていただきました。各小学校、毎週水曜日は、月に一回子ども教室、残りの水曜日は学びの教室を実施しているそうです。

取材に行ったのは、2014年1月下旬。まずは、国東市立旭日小学校で放課後に開催された「子ども教室」の様子。学校の敷地内の撮影をしながら萱島さんの到着を待っていると、同校の体育館へ授業の終わった元気な子どもたちが、走り込んでいきました。到着した萱島さんに案内され、体育館へ向かうと、くにさきレクリエーション協会の指導者の方たちが、1年生から3年生18名の子ども



たち(希望者)に、紙ヒコーキの作り方の指導をされている最中でした。厚紙で作られた数枚のパーツを糊で張り付けて組立て、ゴムを引っかけて飛ばすもの。作り終わったら全員で一斉にステージ上から飛ばします。中には、体育館の半分以上飛ばせた子もいましたよ。よく飛ぶこの「紙ヒコーキ」のキットは、指導者が研修会で学び得たものだそうです。「ゆめさき体験スクール」と称したこの事業は、2

5年度で今回の取材までも41回開催されています。萱島さんは、毎回何をやるかどのように運営するか、くにさきレクリエーション協会の方をはじめとする協力者の方たちと相談しながら、コーディネートをされるそうです。



さて、旭日小学校で「子ども教室」が開催されているということは、ほかの3校では「まなびの教室」が開催されています。ということで、そのうちの1校の様子取材しに行ってきました。

こちらでは、十数名の子どもたちがプリントでの学習に取り組んでいます。学習習慣の定着と基礎・基本の再確認を目的に月3、4回水曜日の放課後に補充的な学習サポートを実施しています。参加しているのは、年度当初に希望し登録した児童で、授業終了後16:30頃まで勉強しているそうです。指導

導に入っているのは、主に校区内に住んでいる教職経験のある退職された先生方だそうです。萱島さんは、この先生方との連絡・調整もされています。

最後に、萱島さんよりコメントをいただきました。

「少子化・核家族化が進み、家庭や地域の中で受け継がれていた経験や教えを受け継ぐ機会を失いつつある中で、子ども教室の担う役割は年々大きくなっています。地域の方との物作り・料理・スポーツなどの体験活動を通じて様々な経験が出来るように、子ども教室を企画していきたいと思えます。

また、学力についても、地域の指導者の協力を得て、個に応じた細やかな指導や繰り返し学習・学び直しにより、躓きにすばやく対応できるような学びの教室の運営の支援を、指導者や学校と手を取り合って進めていきます。

こうした地域の方との交流の中で、将来子どもたちが大人になって、国東に帰りたと思うような環境作りのお手伝いをしていきたいと思っています。」

今回お邪魔した日も、大変お忙しいそうでしたが、子どもたち一人ひとりに向き合いながら活動されている萱島さんの笑顔がとても印象的でした。また、私たちも子どもたちの笑顔に触れ、癒しと元気をもらって帰りました。

